



イベント 終了しました

プロパテント・ウォーズ 世界を変えた特許の歴史

キーワード	日比谷カレッジ,特許
内容	<p>イタリア・ルネッサンス期は、芸術が開花した時代であると同時に、科学技術もまた大きく進展した時代でした。</p> <p>例えば、ダ・ヴィンチはモナ・リザを描くとともに、ヘリコプターや揚水機などの発明をメモに記しています。特許制度はこの時代に、ヴェネチア共和国で誕生しました。同時代に活躍したガリレオ・ガリレイは、共和国の元首に宛てて特許申請の手紙を書き残しています。</p> <p>その手紙を読み解きながら、特許制度の社会的役割について解説します。その後、特許制度はイギリス、アメリカ、そして日本で導入されました。その歴史を皆さんと一緒に辿りながら、特許の今日的意味を探索してみます。</p>
日にち	2017年03月31日（金） 19:00から20:30
日にち説明	18:30開場

場所	地下一階 日比谷コンベンションホール（大ホール）
関連ファイル	170331 プロパテント・ウォーズ チラシ
発信者	千代田区立日比谷図書文化館
定員	200名（事前申込順）
参加費用	1,000円

講師・出演者	上山明博
プロフィール	<p>■上山 明博（うえやま あきひろ） ノンフィクション作家（日本文藝家協会 及び 日本科学史学会正会員）。</p> <p>1955年 岐阜県生まれ。1999年 特許庁産業財産権教育用副読本策定普及委員会委員、2004年 同委員会オブザーバーなどを務める一方、文学と科学の融合をめざし、徹底した文献収集と関係者への取材にもとづく執筆活動を展開。主な著書に『プロパテント・ウォーズ 一国際特許戦争の舞台裏』文藝春秋（のち電子書籍）、『発明立国ニッポンの肖像』文藝春秋（のち電子書籍）、『技術者という生き方 一発見！しごと偉人伝』ペリかん社、『ニッポン天才伝 一知られざる発明・発見の父たち』朝日新聞出版、『白いツツジ 一「乾電池王」屋井先蔵の生涯』PHP研究所、『関東大震災を予知した二人の男 一大森房吉と今村明恒』産経新聞出版などがある。</p>

主催	千代田区立日比谷図書文化館
----	---------------

問い合わせ先	千代田区立日比谷図書文化館（03-3502-3340）
--------	-----------------------------

申込期間	2017年01月30日 10:00 から2017年03月31日 19:00
------	---------------------------------------

申込方法	電話（03-3502-3340）、Eメール（college@hibiyal.jp）、来館（1階受付）いずれかにて、①講座名(または講演会名)、②お名前（よみがな）、③電話番号をご連絡ください。
------	--

カレンダー表示 <input type="checkbox"/> イベント開催日 <input type="checkbox"/> 休館日	2017年 03月						
	日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4	
	5	6	7	8	9	10	11
	12	13	14	15	16	17	18
	19	20	21	22	23	24	25

26 27 28 29 30 31

発信日

2017.01.30

 印刷

 リストに追加

ツイート